



第 31 回 例会 報告 (3月3日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 53名
 ・出席数 35名
 ・欠席数 18名
 ・当日出席率 69.56%
 ・前々回修正出席率 100%
 <欠席会員> 檜垣(賢)、檜垣(俊)、日野、平田、吉良、小堀、近藤、桑森、松本、森岡、村上(裕)、大澤、尾関、竹田
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、越智、宮本、
 <2/13欠席補填>(2/15今治北) 檜垣(賢)、吉良、小堀、松木、宮道、森岡、村上(修)、西信、尾越 (2/16今治南) 平田、
 河野、尾関

◆**会長報告**・2月27日(土)あすなろ学園へテントを寄贈しました。

◆**幹事報告**・4月7日(木)18:30よりマリエール今治にて花見夜間例会を開催します。

2015-2016 年度 インターシティ・ミーティング(IM)報告

◆**八木正史会員**：(全体総括) 今回の IM は今治南 RC がホスト役となって行われた。記念講演では早稲田大野球部監督・高橋広氏が語った「夢は見るものではなくつかむもの」との言葉が印象に残った。フォーラムは「青少年育成」について9クラブの代表が発表。当クラブの阿部会員は持ち時間の8分ジャストできちんとまとめた。他クラブから「育成事業経験者の成長の跡を追跡することが大切」との指摘があったが、当クラブは既に友の会、インターアクトクラブのOB・OG会を開催しており、先を見据えた活動に歴史と伝統を感じ、プライドを高められた。

◆**田中良史会員**：(記念講演 早大野球部監督・高橋広氏「わが野球人生」) 高橋監督は新居浜市出身。西条高で主将、早大で学生コーチを務めた。1980年に監督となった鳴門工業を8度甲子園に導き、2002年春には準優勝した。昨年、早大監督に就任すると、春、秋のリーグ戦と全日本大学選手権で優勝、明治神宮大会も準優勝しグラندスラムにあと一步の成績を残した。▼八木会員も触れた「夢は実現する」との考えを実践するが、現実志向の高校生に夢を書かせると10項目が埋まらないという。指導法は当初スパルタで、延長戦では負け知らずだった。とりこぼさないのは精神力の差で、精神力を身につけるには走り込みが大切と述べた。▼最近の若者の特徴を「群れる」「リーダーになりたがらない」と指摘。主将でさえ部員に「やれ」と命令できず、「やりませんか」「やってくれますか」と頼んでいる。ヘタをすると主将でさえ仲間外れとなる環境だ。そういえば、わが子が通う小学校に学級委員はいない。リーダーを育てない、誰かを突出させない教育になっている。▼早大の歴代監督は、現役時代レギュラーか主将か、社会人で監督経験のあることが就任の条件だったが、高橋監督はいずれにも該当しない。チームを強くするためにそういう人を引っ張り素晴らしい成果をあげた。伝統の中にありながら柔軟な姿勢をみせたことが大切だ。高橋監督は講演中一度も姿勢を崩さず、水に手をつけず、ペーパーも見なかった。指導するだけでなく、自身が努力している姿に感動した。

◆**阿部真弓会員**：(フォーラム) フォーラムについては繰り返しになるので、青少年奉仕委員会の今後のスケジュールを確認しておきたい。5月19日から3泊4日でRYLAセミナーが香川県の余島で開催される。これこそリーダーシップを養う講座。3度目のカウンセラーを務めます。6月11日は四国中央市で2016-2017年度インターアクト会長・幹事研修会。ありがとうサービスの井本雅之社長が「思いが現実をつくる」のタイトルで基調講演する。7月30日からはいよいよ1泊2日でインターアクトクラブ年次大会。FC今治オーナーの岡田武史氏が講演、2日目はレクリエーションでクルージングを計画している。8月4、5日は今治ロータリー青少年友の会のサマーキャンプ。こぞって参加をお願いします。

次回例会 (3月10日)

【 広報・会報委員会アワー 】

<会員誕生日祝> 小堀陽一郎氏 (3/21) 村上 修三氏 (3/23)
 <配偶者誕生日祝> 村上 修三氏 (3/17) 尾関 正人氏 (3/23)
 <結婚記念日祝> 尾関 正人氏 (3/14) 吉良 敏彦氏 (3/15) 吉田 透氏 (3/16)
 佐伯 和信氏 (3/18) 大澤 正尚氏 (3/20) 冠 康秀氏 (3/21)
 <入会記念日祝> 岡田 昌平氏 (3/22)

[健寿司]